

恵庭市立恵み野中学校 約100人に がん検診の大切さを呼びかける がん教育推進事業に協力

2025年11月13日 (木)

学校で段階的に必修となってきた「がん教育」。中でも医療従事者やがん経験者を外部講師として招き、授業を行うことが推奨されています。

今回は、北海道教育委員会から依頼を受け、がん教育等外部講師連携支援事業の一環として、がん経験者である社長室の阿久津友紀部長が講師を務めました。

本年度のモデル校である恵庭市立恵み野中学校の体育館に集まった中学校2年生およそ100人を前に、HTBが制作した「onちゃんと学ぼう！がん編」を使いながら、がん細胞の数や成長速度などをクイズ形式でわかりやすく説明しました。

また、学校側より依頼された「がんとともに生きる、働く」というテーマに合わせて、どうやって仕事に復帰してできたか、がん患者はどう接してほしいと思っているか、もしもにどう備えるかなど経験談を伝えました。生徒からは「検診の大切さについて家で話す」「これからもきょう聞いたことを生かして学んで備えていきたい」などと感想が寄せられました。

onちゃんと学ぼう！「がんってなんだ？」など3本は北海道教育庁学校教育局体育・保健課の公式YouTubeで見ることができます。

https://youtu.be/SevSS3BBuAM?si=8odj_79WNXCrPACu

